

「御食国若狭と鯖街道」が日本遺産に認定

「鯖街道」を介してつくられた文化遺産群を評価

4月24日、文化庁が今年度新たに創設した「日本遺産」に、県と小浜市、若狭町が共同申請した「海と都をつなぐ若狭の往来文化遺産群～御食国若狭と鯖街道～」が選定されました。

「日本遺産」は、地域に点在する史跡・伝統芸能などの文化財をパッケージ化し、文化・伝統を語るストーリーとして認定。外国人も含めた旅行者に地域の歴史的魅力をアピールし観光振興につなげるため、平成32年(東



京五輪)までに100件程度を認定する予定です。

今回第1弾として、40都道府県から83件の申請があり、外部有識者による委員会により24府県の18件が選ばれました。

西川知事は、「祭りや寺社・仏像などの多様な文化財が集積し、地域に根付いていることが高く評価された」とし、今後は京都府や滋賀県と連携して、大いに売り込んでいくと述べました。

「ロボカップ」全国大会を開催

国内外から72チーム・470人が参加

5月2日から3日間、国内最大級のロボット競技会「ロボカップジャパンオープン2015福井」が福井市の県産業会館と県生活学習館で開催されました。

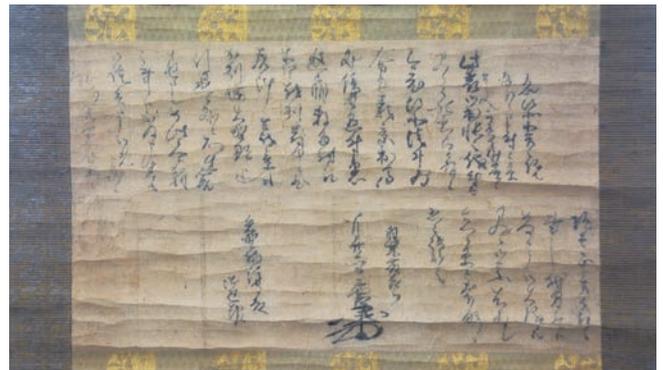
ロボカップは、2050年までに人間のサッカーワールドカップ優勝チームに勝てるロボットチームをつくるという夢に向かって発足した国際プロジェクト。

大会では、ロボットの種類別のサッカーの試合や災害救助ロボットの競技など12部門を実施。県勢では、福井工業大学チームが「サッカーシミュレーション3D部門」で2連覇を果たし、7月の世界大会出場が決まりました。



秀吉の書状を入手

丹後の武将へ朝倉氏の滅亡を伝達



県は、今年3月、羽柴(豊臣)秀吉が越前の戦国大名朝倉氏の滅亡を、丹後の武将矢野備後守に伝える書状を入手。5月31日まで一乗谷朝倉氏遺跡資料館で展示しました。

書状には「朝倉義景が浅井援護に出馬したところ、織田信長が駆けつけ追撃してこれを破り」と記され、最後には「大野郡まで退却したところを自害させた」と合戦の様子を生々しく伝達。丹後地域の武将が合戦の行方に注目していたことがうかがえ、陣中から朝倉氏の滅亡を最も早く知らせた資料という点で歴史的価値があります。